

午前九時〇〇分開議

○議長（高野正君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は10人です。定足数に達していますので、これから本日の会議を開きます。

報告します。藪内住民課長は、ご親戚の不幸ごとにより本日欠席です。かわって、住民課、中村課長補佐が出席します。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1 認定第2号 平成28年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 平成28年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定につきまして細部説明を申し上げます。

平成28年度国民健康保険特別会計の規模は、歳入総額12億32,579,765円、歳出総額11億22,134,847円で、歳入から歳出を引きました実質収支額は1億10,444,918円でございます。

1、2ページの歳入の状況につきましては、歳入の予算額は12億10,309千円、歳入額は12億32,579,765円で、予算に対する収入割合は101.84%となっています。調定額12億72,826,099円に対する収入割合は96.84%でございます。

次に、3、4ページの歳出の状況につきましては、歳出総額11億22,134,847円で、歳出予算額12億10,309千円に対して92.71%の執行率でございます。

7、8ページの国民健康保険税の歳入額は2億40,419,550円で、前年度と比較いたしまして9,714,253円の減少で、調定額2億80,665,884円に対する徴収率は85.66%でございます。内訳は、現年課税分95.89%、滞納繰越分17.90%でございます。

なお、28年度の不納欠損額として7件、407千円を処分しております。

また、現年課税分、滞納繰越分の徴収率につきましては、平成28年度特別会計決算の概要の1ページの2の歳入の状況、(1)の国民健康保険税の欄に、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分に区分して記載していますので、ご参照ください。

使用料及び手数料は121,196円でございます。

9、10ページの国庫支出金は1億92,733,645円でございます。療養給付費等負担金、高額医療費共同事業負担金及び特定健康診断等負担金などがあります。うち、国庫補助金は49,046千円でございます。

療養給付費等交付金は30,810千円で、これは退職者医療に係るものでございます。

11、12ページの前期高齢者交付金は3億15,206,467円で、対象は65歳から74歳までとなります。

県支出金は53,373,458円でございます。

共同事業交付金は2億38,988,202円で、高額医療費共同事業交付金は医療費800千円を超えるものに対して、また保険財政共同安定化事業交付金は27年度から全ての医療費が交付対象となりました。

13、14ページの財産収入は30,025円でございます。

繰入金は1億1,166,780円で、前年度と比較して990,268円の減少でございます。

繰越金は57,831,297円で、前年度と比較して10,836,766円の増加でございます。

諸収入は1,899,145円で、前年度と比較して665,463円の減少でございます。

次に、歳出の状況についてでございますが、19、20ページ、総務費の歳出額は18,892,588円で、職員2名分の人件費、賦課徴収に係る費用、国保運営協議会費などが含まれています。

21、22ページ、保険給付費は6億67,457,801円で、歳出に占める割合は59.48%になります。

23、24ページ、後期高齢者支援金等は1億15,601,247円、前期高齢者納付金等は82,597円、老人保健拠出金は3,946円でございます。

25、26ページ、介護納付金は47,338,414円、対象年齢は40歳から64歳まででございます。共同事業拠出金は2億55,362,220円でございます。

保健事業費は6,997,860円、27、28ページ、諸支出金は10,368,149円で、前年度と比較して13,540,707円の減少でございます。要因としましては、過年度療養給付費等負担金などの償還金が減少したためでございます。

基金積立金は30,025円でございます。なお、基金残高は15,618,430円でございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。7番、鈴川議員。

○7番（鈴川基次君） ちょっと1点だけお尋ねします。

主要施策の成果の中で、73ページに、ことしの国保の細かい数字的なのを上げていますけれども、その中で、前年度と比較して、1人当たりの医療費が11,542円減となったと。これは、今後のことを考えて、町にとっても我々にとっても大変ありがたいことだと思うんですけども、その中の要因としては、通院は増となっているものの、入院とか調剤、薬の減によるものであると、一応要因について分析されています。

それはそのとおりだと思うんですけども、これまで町として医療費の抑制に向けていろいろ対策をとられてきたと。その右側に、医療費の抑制策としていろいろ載せられています。レセプト点検であるとか、人間ドックの推進、医療費通知の送付、またジェネリッ

ク等いろいろありますけれども、今年度に限っていえば、11千円が1人当たり平均減ったということは、いろいろと今までのそういう施策の効果が出ているなど思うんですけども、この抑制策の中でいろいろ挙げていますけれども、特にこの中で担当課として効果があったと、これがやっぱり、1つじゃなくてもいいんですけども、この中で、この抑制施策は効果があったので、こういう1人当たりの減ったと思われる抑制策について、担当課としてどのように分析されていますか。

○議長（高野正君） 健康推進課長。

○健康推進課長（野田佳秀君） お答えいたします。

医療費の抑制策の効果ということですが、幾つか主要施策の成果のほうに挙げさせてもらっておりますが、なかなかこれというのは難しいところでございまして、全体的なバランスの中で医療費の抑制が生まれたというところでございます。

それで、主な要因ということで、評価のところへ挙げさせてもらっているんですけども、それ以外に、前期高齢者の方の医療費の減ということで、1人当たり約50千円、年間で下がりました。それで、被保険者の数が924名ということで、約46,000千円ほど下がっております。それと、人工透析を受けておられた方が後期のほうへ移行されたということで、その辺の関係もございまして、1人当たりの医療費が削減されたということでございます。

以上です。

○議長（高野正君） 7番、鈴木議員。

○7番（鈴木基次君） これ、各年度の28年度までの医療費の1人当たりの推移が載っていますけれども、ほぼ毎年若干ずつ上がってきて、ことしはこれだけ減ったと。ことしとは28年度ね。

29年度に関しても、現況で、半分近くたった中で、今年度の、去年と比較して増減もある程度はわかっていると思うんです。

今後、いろんな努力によって、またいろんな減少によって、ことし28年度の下がったのは、いろんな条件が重なって下がったのか、いろんなことを頑張ることによって、今後、抑制されて減ということも考えられるというのか、可能性としては、我々としてはちょっとでも抑制してもらいたいわけですけども、今後の推移について、担当課としてどのように分析されていますか。

○議長（高野正君） 健康推進課長。

○健康推進課長（野田佳秀君） お答えいたします。

29年度の医療費の推移ということですけども、なかなか医療費がどれだけかかるかというのは見込めないところでございます。

それで、全体的、28年度からの被保険者の方々を見ている中では、人工透析というのが主な要因のところでございます。その方々が後期のほうへ移行されたので、29年度については、28年度の実績ぐらいになるのではなかろうかと思っております。

以上でございます。

○議長（高野正君） 9番、田渕議員。

○9番（田渕勝平君） 今回の鈴川議員の質問と全く同じような質問なんですけれども、22年度でしたか、23年度くらいに10億という大台に乗って、それから12億ぐらいの予算、ずっと組んでいるわけなんです。

水道代とか下水道代というのは、人口が減ってきたら値上げどこかでせないかんということになってくると思うんですけれども、国民健康保険とか、あとの介護保険云々というのは、年寄りがふえてきたりとかというたら、ある程度ピークを迎えると。最終的には人口減ってきたら総額も減ってくるんですけれども、そこでちょっと難しい質問になるのかと思いますけれども、今言うように、いろんな活動することによって医療費を下げるという手は一つ必ずあると思います。

いま一つ、自然増とか何とかいうて、同じ風邪引きになってお医者さんにかかっても、以前だったら2千円で済んだのが、最近は2,500円平均したらかかるというんか、自然にお医者さんの治療費というのが少しずつ高くなっていくんやという話も聞いたことあるんですけれども。そこで何を聞きたいのかって、今で12億、国保って余り変動ありませんよね、途中で大体当初予算、ちょっとふえるぐらいでしているものです。

そこで、将来、美浜町でどれくらいまでふえるのかなと、国民健康保険と、ほかの特別会計も以前に田端課長がおられたときにちょっと聞いたことあったんです、介護保険とかそこら辺も大体これくらいがピークやなということを、何年ぐらいにここら辺ピークやなということを頭の中で、1年や2年前後しても構いません。1億や2億構いませんので、美浜町でここから先伸びていくとしたら、どこ単位まで、13億なのか4億なのか、もちろんいろんな条件があるん、わかっていますよ。そこで、我々心得て、あと何年後ぐらいにどれぐらいのところまで来るやろうという予測、聞かせていただけたらと思います。

○議長（高野正君） 健康推進課長。

○健康推進課長（野田佳秀君） お答えいたします。

予算規模ということになるかと思います。29年度につきましては、29年度の当初予算でいきますと、29年度の予算額が12億15,235千円、28年度の予算額が12億27,510千円ということで、比較いたしますと12,275千円の減となっております。

30年度以降につきましては、都道府県単位化されます。30年度以降の予算規模につきましては、まだ県のほうから詳細な予算の立て方など示されておられません。国保新聞など見る限り、若干減るのではなかろうかと思っております。

以上でございます。

○議長（高野正君） 9番、田渕議員。

○9番（田渕勝平君） 後期高齢者と一緒で県単位になるので、そこから先と言って、離れてしても、余計に医療費が要っているというような現状になるのも非常に困る話なので、

やっぱりまちとしては、後期高齢者も含めてきちんと、うちここはこれくらいの拠出金が必要やなということはやっぱり見ていく必要があると思います。これ、まず1点。それは答弁結構です。

そこで、今の課長の答弁を聞かせてもうたら、大体12億、今がピークですよと。あと80,000千そこそこあるとは、今後も、特別なことがない限り13億以内でおさまる。そこから後は、いわゆる後期高齢者なり介護のほうはどうなるかわかりませんが、国民健康保険としては大体今がピークぐらいで、人口が減るとともに、ちとずつもしかしたら縮小していきますよと、そういう認識の仕方でもいいんでしょうか。

○議長（高野正君） 健康推進課長。

○健康推進課長（野田佳秀君） お答えいたします。

29年度につきましては、約12億円ぐらいになるかと思います。

30年度以降につきましては、都道府県単位化されますので、その辺の関係で、一つ例を挙げれば、保険財政共同安定化事業なんかも廃止されますので、あくまでも推測ですけども、10億円ぐらいになると思います。

以上でございます。

○議長（高野正君） ありませんね。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第2号 平成28年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第2 認定第3号 平成28年度美浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第3号 平成28年度美浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定につきまして細部説明を申し上げます。

平成28年度農業集落排水事業特別会計の規模は、歳入総額87,868,640円で、前年度1億86,313,840円と比較しまして98,445,200円、率にいたしまして52.84%の減少でございます。

歳出総額は87,868,640円で、前年度1億86,298,540円と比較いたしまして98,429,900円、率にいたしまして52.8%の減少でございます。

歳入から歳出を引きました実質収支額はゼロ円でございます。

歳入の状況につきましては、1ページ、2ページの歳入の予算額は96,393千円、収入済額は87,868,640円で、予算に対する収入割合は91.16%でございます。調定額88,378,653円に対する収入割合は99.42%でございます。

5ページ、6ページの分担金及び負担金の歳入額は2,544千円で、前年度と比較いたしまして874,500円の減少でございます。内訳は、和田農業集落排水処理区加入分担金1,908千円、入山・上田井地区処理区分担金636千円でございます。

使用料及び手数料の歳入額は47,283,087円で、前年度と比較いたしまして869,538円の増加でございます。調定額47,793,100円に対する徴収率は98.93%で、不納欠損額として3件、5,525円を処分いたしました。

国庫支出金の歳入額は、和田地区汚水処理施設機能調整工事に対する農山漁村地域整備交付金2,100千円で、前年度と比較いたしまして47,300千円の減少でございます。

県支出金の歳入額は、農林漁業集落排水事業元利償還金助成交付金9,180千円で、前年度と比較いたしまして5,320千円の減少でございます。

5ページから8ページにかけての繰入金の歳入額は25,115,069円で、前年度と比較いたしまして5,358,137円の増加でございます。

繰越金の歳入額は15,300円で、前年度と比較いたしまして1,984,700円の減少でございます。

諸収入の歳入額は1,590,567円で、内訳は、預金利子152円、農業集落排水管移設補償費438,700円、消費税及び地方消費税還付金1,151,715円でございます。前年度と比較いたしまして2,028,131円の減少でございます。

財産収入の歳入額は、農林漁業集落排水事業元利償還金助成交付金を農業集落排水基金として積み立てた利子積立金40,617円で、前年度と比較いたしまして34,456円の増加でございます。

次に、歳出の状況につきましては、3ページ、4ページに戻っていただきまして、歳出総額は87,868,640円で、前年度と比較いたしまして98,429,900円、率にいたしまして52.8%の減少でございます。

歳出予算額96,393千円に対して、91.16%の執行率でございます。

9ページ、10ページに飛びまして、総務費の歳出額は43,770,688円で、和田処理区、入山・上田井処理区の管理運営費等でございます。前年度と比較いたしまして5,375,801円の増加でございます。

9ページから12ページにかけての建設費の歳出額4,212千円は、和田地区汚水処理施設機能調整工事でございます。前年度と比較いたしまして96,971,600円の減少でございます。

公債費の歳出額は30,665,335円で、内訳は、元金償還金24,594,880円と利子償還金6,070,455円でございます。前年度と比較いたしまして

1, 548, 557円の減少でございます。

基金積立金の歳出額は9, 220, 617円で、内訳は、基金積立金9, 180千円と利子積立金40, 617円でございます。前年度と比較いたしまして5, 285, 544円の減少でございます。

なお、平成28年度特別会計決算の概要の12、13ページに、和田処理区及び入山・上田井処理区の管理費等の詳細を添付していますので、ごらんください。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第3号 平成28年度美浜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第3 認定第4号 平成28年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第4号 平成28年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定につきまして細部説明を申し上げます。

平成28年度公共下水道事業特別会計の規模は、歳入総額が1億51, 423, 383円、前年度2億61, 973, 778円と比較いたしまして1億10, 550, 395円、率にいたしまして42. 20%の減少でございます。

歳出総額は1億51, 310, 883円、前年度2億58, 323, 778円と比較いたしまして1億7, 012, 895円、率にいたしまして41. 43%の減少でございます。

歳入から歳出を引きました実質収支額は112, 500円でございます。

収入の状況につきましては、1ページ、2ページの歳入の予算額は1億57, 706千円、収入済額は1億51, 423, 383円で、予算に対する収入割合は96. 02%でございます。調定額1億52, 017, 540円に対する割合は99. 61%でございます。

5ページ、6ページの分担金及び負担金の歳入額は1, 707, 500円で、前年度と比較いたしまして1, 318千円の減少でございます。不納欠損額として21件、

217,500円を処分いたしました。

使用料及び手数料の歳入額は48,487,407円で、前年度と比較いたしまして2,045,457円の増加でございます。調定額48,864,064円に対する徴収率は99.23%で、不納欠損額として6件、9,723円を処分いたしました。

国庫支出金の歳入額は7,500千円で、前年度と比較いたしまして33,550千円の減少でございます。

県支出金の歳入額は582千円で、前年度と比較いたしまして1,418千円の減少でございます。

5ページから8ページにかけての繰入金の歳入額は79,043,497円で、前年度と比較いたしまして24,496,476円の減少でございます。

繰入金の歳入額は3,650千円で、前年度と比較いたしまして3,650千円の減少でございます。

諸収入の歳入額は856,546円で、前年度と比較いたしまして853,310円の増加でございます。

町債の歳入額は9,500千円で、前年度と比較いたしまして49,000千円の減少でございます。

財産収入の歳入額は96,433円で、前年度と比較いたしまして16,686円の減少でございます。

次に、歳出の状況につきましては、3ページ、4ページに戻っていただきまして、歳出総額は1億51,310,883円で、前年度と比較いたしまして1億7,012,895円の減少でございます。歳出予算額1億57,706千円に対して95.94%の執行率でございます。

9ページ、10ページに飛びまして、総務費の歳出額は28,073,671円で、前年度と比較いたしまして4,859,992円の減少でございます。

9ページから12ページにかけての建設費の歳出額は50,098,077円で、前年度と比較いたしまして1億3,057,437円の減少でございます。

11ページから14ページにかけての公債費の歳出額は72,242,702円で、前年度と比較いたしまして2,033,720円の増加でございます。

13ページ、基金積立金の歳出額は、受益者負担金等を積み立てた金額896,433円で、前年度と比較いたしまして1,129,186円の減少でございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員（挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第4号 平成28年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第4 認定第5号 平成28年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第5号 平成28年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定につきまして細部説明を申し上げます。

平成28年度介護保険特別会計の規模は、歳入総額8億24,658,922円で、前年度8億12,271,776円と比較して12,387,146円の減額、率にして1.53%増加しています。

歳出総額は8億7,604,202円で、前年度8億1,230,445円と比較して6,373,757円の増加、率にして0.80%が増加しています。

歳入から歳出を引きました実質収支額は17,054,720円でございます。

1、2ページ、収入の状況につきましては、歳入の予算額は8億32,117千円、収入済額は8億24,658,922円で、予算に対する収入割合は99.10%でございます。調定額8億26,831,482円に対する割合は99.74%です。

5ページの保険料、介護保険料の歳入額は1億56,888,330円で、前年度と比較して2,578,036円の増額となりました。主な要因は、被保険者数の増加によるものです。調定額1億50,060,890円に対する徴収率は98.63%です。平成28年度不納欠損額として84件、706,370円を欠損処分しました。

使用料及び手数料の歳入額は8,900円で、前年度と比較して7,900円の減額となりました。

国庫支出金の歳入額は1億98,289,401円で、前年度と比較して2,658,064円の増額となりました。その内訳は、国庫負担金では、介護給付費負担金1億37,847,401円、国庫補助金では、調整交付金54,117千円、介護予防事業の地域支援事業交付金450千円、包括的支援事業・任意事業の地域支援事業交付金5,655千円、介護保険事業費補助金220千円でございます。前年度と比較して、国庫負担金介護給付費負担金で82,574円、国庫補助金調整交付金778千円、包括支援事業・任意事業1,605,240円の増額と介護保険事業費補助金220千円の皆増となりましたが、介護予防事業で27,750円の減額となりました。

支払基金交付金の歳入額は2億12,636千円で、前年度と比較して2,883千円の増加となりました。これは、介護給付費交付金及び地域支援事業支援交付金の合計とな

ります。

7ページの県支出金の歳入額は1億15,241,500円で、前年度と比較して245,255円の減少となりました。

財産収入の歳入額は16,704円で、前年度と比較して7,652円の増加となりました。

繰入金の歳入額は1億29,541,596円で、前年度と比較して349,422円の減額となりました。

9ページの繰越金の歳入額は11,041,331円で、前年度と比較して4,272,323円の増加となりました。

諸収入の歳入額は995,160円で、前年度と比較して589,948円の増額となりました。これは、雑入の重加算金の皆増によるものです。

次に、歳出の状況について申し上げます。

3、4ページに戻っていただきまして、歳出総額は8億7,604,202円で、前年度と比較して6,373,757円、0.80%の増加でございます。歳出予算額8億32,117千円に対して97.05%の執行率でございます。

11ページ、12ページに飛びまして、総務費の歳出額は30,923,377円で、前年度と比較して5,898,481円の増加となりました。主な要因は、職員が1名から2名になった人件費の増加によるものです。

介護給付費の歳出額は7億51,822,648円で、前年度と比較して3,398,646円の増加となりました。その内容は、介護サービス等諸費6億62,549,559円、その他諸費619,135円、高額介護サービス費17,337,902円、高額医療合算介護サービス等費2,535,008円、特定入所者介護サービス等費31,825,300円、介護予防サービス等諸費36,955,744円でございます。

17ページ下段の地域支援事業費の歳出額は15,951,457円で、前年度と比較して2,229,567円の減少となりました。

19ページの基金積立金の歳出額16,704円で、前年度と比較して3,992,348円の減少となりました。これは、27年度では4,000千円を積み立てましたが、28年度は利息分のみ積み立てであったことによるものです。

次に、諸支出金の歳出額は8,890,016円で、前年度と比較して3,298,541円の増加となりました。内容は、前年度の精算分で国、県、支払基金への償還金であります。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。9番、田淵議員。

○9番（田淵勝平君） 国民健康保険のところでも聞きましたし、10億、今より下がるというのは理解できました。拠出金は直接県のほうへ行きますので、2億40,000千、10億ぐらい、今がピークやという話、よく理解。

それと同じように、この介護保険というのは、20年度に5億80,000千ぐらい

だったやつが、今、この金額、8億まで来たわけですね。毎年、少ないときで20,000千ぐらいずつ膨らんでいくわけなんです。大きいんだったら五、六千万膨らんだときもあると思うんです。

そこで、国民健康保険と同じことを聞きたいんですけども、我々が団塊の世代です。我々、まだ本格的に介護保険の世話になっていないと思うんです。大体、美浜町で何年くらいか、今、8億20,000千なりという金額がどれくらいまで上がって、過去にちょっと聞いたことあるんですけども、どれくらいに、いつごろ、これが美浜町のピークですよと我々認識しておいたらいいのかな、きちんとした計算したものがあれば、また見せていただきたいとも思いますけれども、アバウトな数字で結構ですので、おおよそ三十何年くらいに美浜町の介護保険というのはこれくらいまで膨らみますよという点、これ1点、一番聞きたいです。

いま1点、どんどん介護保険の対象者がふえてくるということからして、ベッドの数というんですか、施設の数というんですか、1つの施設が規模を拡大していくとか、また新しくできるとかあるんですけども、その増加率、要するにそれだけ介護保険が膨らんでいくものを消化するような施設がカバーできていくというか、整っていくというんですか、そこら辺、課長の視点から見て、我々この立場やと全然わかりませんので、将来、これ大きな問題になりますよというお考えなのか、まあまあそれなりに部屋なり受け入れの定員がふえているので、そんなに心配したものではありませんよと考えているのか、その2点、ちょっとお伺いしたいと思います。

○議長（高野正君） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（中村幸嗣君） お答えします。

まず、介護保険の総予算の見込みということですけども、過去からもこの金額についてはお答えさせていただいておりまして、大体10億を目安という答弁を続けてきました。今現在の給付費の見込みからも、おおよそそのめどとしての金額10億というのは、そういう金額になろうかと思っております。

時期的なものから見ますと、よく2025年問題とかという話があるんですけども、美浜町におきましては、人口推計で団塊の世代の方が介護サービスを受けられる、大体75歳から介護サービスをよく受けられることになっているんですけども、75歳以上の人口のピークが2030年という人口推計があるんです。ということから、金額はちょっと出しにくいんですが、2030年ぐらいをめどに、その金額のピークがあると見込んでおるところです。

次のベッドの数というところなんですけれども、これについては、今現在、例えばこの日高の圏域、御坊市周辺の市町の協議会的なものがあるんですけども、そういった中で話を聞くとところでは、まあまあ早々、ベッド数についてはそんなにふやす必要はないんじゃないかという意見がされておるところです。ということで、美浜町も同様に、そのように考えているところなんです。

以上です。

○議長（高野正君） 9番、田渕議員。

○9番（田渕勝平君） 10億、もうちょっと大きな金額を聞かせてもらったときもあるやに記憶あるんですけども、2030年がピークになるやろうと。このときの金額は、おおよそ、いろんな制度の差もあるのか知りませんが、このときの金額で大体どれくらいを課長は予想しておられますかという1点。

それと、我々の、住民の実感だと思うんですけども、どこの老人ホームも随分と待機しておられると。それで、幾つも申し込むので、ここの数字が丸々不足しているかというのもイコールじゃないという話もわかった上でですけども、近年、民間がやっている中では、随分と高額のところもできてきているやに伺っております。それが、住民全体の平均的なニーズを満足さす形になっているのかなと思うんです。

今の課長の話聞かせてもうたら、早々ふやさいで困っているような話はありませんよと言いますが、世間の話は随分と危機感を持っているように思うんですけども、まあ課長の見解がそうならそれ以上のことは申しませんが、私は、もう少し危機感を持ったふうに感じています。要するに、高額のところは幾らでも入れる人は入れるんですけども、普通住民の方が入るとなったら非常に苦慮するという実態じゃないかなと思うんですけども、その考え方について、課長はどうお考えなのか、1点聞きたい。

それと、今申しましたように10億円、2030年でどれくらいという、全くおおよその数字で結構ですので、お聞かせください。

○議長（高野正君） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（中村幸嗣君） この介護保険の予算というのは、介護給付費というのが主なので、その伸びというのが、過去からにおいては、三、四年ぐらい前までは大体20,000千から30,000千ふえてきていた傾向があったんですが、昨年、また一昨年につきましては減少している年もありまして、伸び率もさほど伸びていないところが、最近そういった傾向があるんです。

また、今年度の給付費の見込みも、現時点でほぼ横ばい的な数字をつかんでおるところです。というところにおいても、被保険者がじわじわふえてきているというところで、まず10億というのはざっくりとした金額ということも含んでいただいて、過去からの答弁にもありました金額としてお答えさせていただきました。

そのピークというのは、原課のほうでも話ししておるんですが、先ほど言いました介護サービスの利用が高くなる75歳以上の人口のピークが2030年を迎えるということで、その時分が最高であると。2030年と10億が合致するということでは言い切れませんが、そういったことで原課としては考えておるところです。

ベッド数の実態なんですけれども、そういった声も、待機者数も主要施策の中でも報告させていただいているところなんですけれども、そういった方々については、老健施設とか、また自宅での療養というところで待機していただいているところなんですけれども、その方々も、

大体1年から2年の間に何とかそういった対応ができてきているという話も、そういった圏域の課長会の中で聞いているところでございますので、さほどというふうな先ほどの私の答弁は、そういうところからのことです。

以上です。

○議長（高野正君） 9番、田渕議員。

○9番（田渕勝平君） 最近、増額が鈍ってきたという話ですけれども、ことしで当初予算で8億50,000千ということからしてみたら、補正分で来たらもう少し上がってくるん違うかな。それ以前は、ここ9,000千というのが、25年から26年に移るときは9,000千ぐらいの増ですけれども、それ以前のときでしたら、30,000千、40,000千ぐらい、ぽんと上がった年も。

今、何を言いたいかという、課長がそんなに最近鈍ってきていますよというようなんじゃないしに、確実に20,000千ぐらい、多少はあると思うけれども、ふえていくというように感じられるんですけれども、今、課長が言うように、ここ近年そんなに伸びないですよという、当初予算からして結局8億50,000千、ことし組んでいるんですからね、29年で。やっぱり増加していくという危機感というのは持つておかないかんの違うんかなと私は思うんですけれども、いや、そういう心配ないんだといたら、そこら辺の話をしていただけたらと思います。

○議長（高野正君） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（中村幸嗣君） お答えします。

全く危機感ないとは僕自身は思っておりません。ちょっとニュアンスの伝わり方が違うんかなと思うところなんです、やはり例外なく、当初も保険料というか、介護保険の予算のほうは、ふえていくことは間違いないと思っております。

ただ、数字的に見ますと、その伸びというのが鈍ってきておる実績がありますので、また原課で予算増加の防止策として介護予防事業というのを中心に、その費用の抑制に努めているところが私の実感ではありますので、そういった、よそから鈍ってきているというふうな言い方になったので、全く楽観的なことは感じておりません。危機感を持つてやっているのは事実です。その抑制に日々努めておるところでございます。

以上です。

○議長（高野正君） ありませんね。いいですか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員（挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第5号 平成28年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

しばらく休憩します。

再開は10時15分です。

午前九時五十八分休憩

——・——
午前十時十五分再開

○議長（高野正君） 再開します。

日程第5 認定第6号 平成28年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。副町長。

○副町長（笠野和男君） 認定第6号 平成28年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定につきまして細部説明を申し上げます。

平成28年度後期高齢者医療特別会計の規模は、歳入総額が1億88,720,432円で、前年度1億99,522,297円と比較して10,801,865円の減額、率にして5.41%の減少でございます。

歳出総額は1億87,467,832円で、前年度1億98,561,597円と比較して11,093,765円の減額、率にして5.59%の減少でございます。

歳入から歳出を引きました実質収支額は1,252,600円でございます。

1、2ページの歳入の状況につきましては、歳入の予算額1億89,193千円、歳入額は1億88,720,432円で、予算に対する収入割合は99.75%でございます。調定額1億88,720,432円に対する割合は100%です。

3、4ページの歳出の状況につきましては、歳出総額は1億87,467,832円で、歳出予算額1億89,193千円に対して99.09%の執行率でございます。

5、6ページの後期高齢者医療保険料の歳入額は60,593,400円で、前年度と比較して2,252,900円の増加でございます。調定額60,593,400円に対する徴収率は100%です。

分担金及び負担金の歳入額は529,200円で、人間ドックの健診に係るもので、前年度と比較して91,800円の増加でございます。

使用料及び手数料の歳入額1,200円は督促手数料です。

繰入金の歳入額は1億24,813,409円で、前年度と比較して114,909円の減少でございます。その内訳は、事務費繰入金が11,478,601円、保険基盤安定繰入金26,894,808円、療養給付費繰入金86,440千円でございます。

繰越金の歳入額は960,700円で、前年度と比較して169,400円の減少でございます。

7、8ページの諸収入の歳入額は1,822,523円で、前年度と比較して12,862,556円の減少でございます。要因は、過年度分療養給付費負担金返還金の減少、後期高齢者医療広域連合派遣職員人件費分の皆減によるものでございます。

歳出についてでございますが、9、10ページの総務費の歳出額は1億85,645,429円で、前年度と比較して4,353,155円の減少でございます。その内訳は、職員の人件費、後期高齢者医療広域連合納付金、人間ドック健診などの費用でございます。

諸支出金の歳出額は1,822,403円で、前年度と比較して6,740,610円の減少でございます。要因は、一般会計繰出金の過年度分療養給付費負担金返還金が減少したことによるものでございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。ありませんか。10番、中西議員。

○10番（中西満寿美君） すみません。ないです。

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。10番、中西議員。

○10番（中西満寿美君） 75歳という、私も去年75歳になったんですけども、その年齢によって国保から廃除されて特別な後期高齢者医療制度という、そういうふうな制度に入れられるという、そういう制度に反対という立場から、この認定に反対をします。

○議長（高野正君） ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第6号 平成28年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算については認定することに決定しました。

日程第6 認定第7号 平成28年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを議題とします。

本件について細部説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長（太田康之君） 認定第7号 平成28年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定についてご説明申し上げます。

1ページ、2ページの収益的収入及び支出については税込み表示となっております。

収益的収入については、水道事業収益決算額1億42,197,928円、内訳は、営業収益1億20,217,472円、営業外収益21,980,456円で、予算に対する収入率は101.01%でございます。

収益的支出については、水道事業費用決算額1億19,676,254円、内訳は、営業費用1億11,013,630円、営業外費用8,662,624円で、予算に対する

執行率は91.46%でございます。

次に、3ページ、4ページの資本的収入及び支出についても税込み表示となっております。

資本的収入については、決算額1億71,565,320円、内訳は、分担金648千円、企業債95,000千円、補償金5,917,320円、負担金70,000千円で、予算に対する収入率は97.96%でございます。

資本的支出については、決算額2億65,308,782円、内訳は、建設改良費2億36,440,080円、企業債償還金28,868,702円で、予算に対する執行率は96.80%でございます。

また、資本的収入が資本的支出に不足する額93,743,462円については、過年度分損益勘定留保資金21,139,441円、当年度分損益勘定留保資金39,909,502円、当年度消費税資本的収支調整額17,466,080円及び建設改良積立金15,228,439円で補填してございます。

次に、5ページ、6ページの損益計算書については、前年度決算との整合を図るため、金額は税抜き表示となっております。

営業収益の合計は1億11,346,584円、営業費用の合計は1億8,993,119円となりますので、差し引きいたしますと営業利益は2,353,465円でございます。

営業外収益の合計は16,992,121円、営業外費用の合計は8,685,440円となりますので、差し引きいたしますと営業外利益は8,306,681円となり、営業外利益を営業利益に加算いたしますと、経常利益は10,660,146円、特別利益と特別損失はございませんので、当年度純利益は経常利益と同じでございます。

当年度純利益に前年度繰越利益剰余金とその他未処分利益剰余金変動額を加算いたしますと、当年度未処分利益剰余金は99,324,743円でございます。

次に、7ページ、8ページの剰余金計算書については、建設改良積立金当年度末残高は40,000千円、減債積立金当年度残高は8,000千円で、積立金合計は48,000千円でございます。

未処分利益剰余金については、前年度末残高は58,799,441円で、建設改良積立金15,000千円と資本金への組み入れ12,635,531円を処分し、当年度分未処分利益剰余金変動額57,500,687円と当年度純利益10,660,146円を加算いたしますと、当年度未処分利益剰余金は99,324,743円でございます。

剰余金処分計算書（案）については、当年度の未処分利益剰余金は99,324,743円のうち、資本金への組み入れ70,457,769円を処分し、翌年度繰越利益剰余金を28,866,974円にいたしたく提案するものでございます。

次に、9ページ、10ページの貸借対照表についても、これも前年度決算との整合を図るため、金額は税抜き表示となっております。

資産の部については、有形固定資産及び無形固定資産の固定資産合計は14億

4,800,417円でございます。流動資産は、現金預金1億56,136,785円、未収金22,230,901円、貯蔵品2,385,901円で、流動資産合計は1億80,753,587円でございます。資産合計は15億85,554,004円でございます。

負債の部については、固定負債の合計は3億50,682,669円、流動負債合計は30,927,111円、繰延収益合計は3億26,607,956円で、負債合計は7億8,217,736円でございます。

資本の部については、資本金の合計は6億97,776,311円、剰余金の資本剰余金は32,235,214円、利益剰余金は1億47,324,743円、剰余金合計は1億79,559,957円、資本合計は8億77,336,268円でございます。

資産合計と負債、資本合計がそれぞれ15億85,554,004円で、貸借が一致するものでございます。

次に、11ページ、12ページの議会議決事項については、予算議決など5件でございます。

工事の概要につきましては、配水管移設費2件、配水施設改良費6件、導水施設改良費が1件でございます。

次に、13ページ、14ページの業務量につきましては、給水戸数3,812戸、年間配水量は90万4,805m³、年間有収水量は86万8,522m³、有収率は95.99%でございます。

事業収益及び事業費用に関する事項については税抜き表示となっております。

事業収益合計は、前年度と比較して4,654,556円の減額、事業費用合計は、前年度と比較して5,680,640円の減額でございます。

企業債については、企業債前年度残高3億12,470,660円、本年度借入額は95,000千円、本年度償還額は28,868,702円、本年度末残高は3億78,601,958円でございます。一時借入金については、ございません。

次に、15ページから20ページの収益、費用の明細については、損益計算書の資料でございます。

次に、21ページ、22ページの固定資産明細書については、資産の増減をあらわしたものでございます。

年度当初の現在高は24億88,513,953円、当年度増加額は4億50,310千円、当年度減少額は2億40,386,273円、年度末現在高は26億98,437,680円でございます。

減価償却の累計額は、当年度増加額は49,651,999円で、当年度減少額は6,347,856円、累計額は12億93,637,263円でございます。

年度末現在高から減価償却累計額を差し引きいたしますと、年度末償却未済額は14億4,800,417円でございます。

次に、23ページの起債台帳については、未償還元金は3億78,601,958円でございます。

次に、24ページのキャッシュ・フロー計算書については、資金期末残高は1億56,136,785円でございます。

次に、25ページの注記については、重要な会計方針に係る事項でございます。

以上で細部説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（高野正君） これから質疑を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。ありませんか。

○議員 「ありません」

○議長（高野正君） これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は挙手によって行います。

この剰余金の処分及び決算を認定することに賛成の方は挙手願います。

○議員 （挙手多数）

○議長（高野正君） 挙手多数です。したがって、認定第7号 平成28年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算については認定することに決定しました。

日程第7 議員派遣の件についてを議題とします。

お諮りします。

議員派遣の件については、地方自治法第100条第13項及び美浜町会議規則第128条の規定によって、お手元に配付しています議員派遣の件のとおり決定することにご異議ありませんか。

○議員 「異議なし」

○議長（高野正君） 異議なしと認めます。したがって、議員派遣の件については、お手元に配付しています議員派遣の件のとおり決定しました。

しばらく休憩します。

午前十時三十三分休憩

——・——

午前十時三十五分再開

○議長（高野正君） 再開します。

お諮りします。

ただいま各委員長から、委員会の閉会中の継続審査及び調査について申出書が提出されました。

これを日程に追加し、議題にしたいと思います。

ご異議ありませんか。

○議員 「異議なし」

○議長（高野正君） 異議なしと認めます。したがって、委員会の閉会中の継続審査及び調査についてを日程に追加し、追加日程第8として議題とすることに決定しました。

追加日程第8 委員会の閉会中の継続審査及び調査についてを議題とします。

各委員長から、目下、委員会において審査及び調査中の事件について、会議規則第75条の規定によって、お手元に配りました申出書のとおり、閉会中の継続審査及び調査の申し出があります。

お諮りします。

各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査とすることにご異議ありませんか。

○議員 「異議なし」

○議長（高野正君） 異議なしと認めます。したがって、各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査とすることに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

したがって、本日の会議を閉じます。

平成29年美浜町議会第3回定例会を閉会します。

午前十時三十六分閉会

お疲れさまでした。